

(34) ばれいしょ

[illegible]

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

ばれいしょ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
6 ジャガイモガ	1. 卵塊、幼虫等は見つけしだい摘除する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. バダンSG水溶剤はジャガイモガ若齢幼虫に登録がある	発 生 初 期	1A 1B 14	ランネート45DF オルトラン水和剤 バダンSG水溶剤
7 ヨトウムシ	1. 卵塊、幼虫等は見つけしだい摘除する。	発 生 初 期	1B	オルトラン水和剤
8 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫等は見つけしだい摘除する。	発 生 初 期	UN	プレオフロアブル
9 オオタバコガ	1. 卵塊、幼虫等は見つけしだい摘除する。	発 生 初 期	UN	プレオフロアブル
10 ニジュウヤホシテントウ (テントウムシダマシ)	1. 茎葉に幼虫や蛹が多数見られるときは、茎葉を圃場外で処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. オルトラン水和剤はテントウムシダマシ幼虫に登録がある。	発 生 初 期	1A 1B 3A 4A 4A	ランネート45DF オルトラン水和剤 サイハロン水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤

(35) さといも

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 無病種いもを用いる。 2. 耐病性品種（赤芽）を使う。 3. 連作を避けてイネ科作物と4～5年の輪作をする。 4. 過湿、過乾を避け、敷わらを厚くする。 5. 窒素質肥料の多用を避ける。 6. 種いもは切り離さず、そのまま貯蔵する。			
2 黒斑病 <i>Ceratocystis</i> sp.	1. 無病種いもを用いる。	植 付 前 (種いも消毒)	M3・1	ベンレートT水和剤20
3 汚斑病 <i>Cladosporium colocasiae</i>	1. 窒素質肥料の多用を避け、カリ質肥料を十分に施す。 2. 生育後半に肥切れのおそれがあれば追肥を行う。			
4 ネキリムシ類	1. 被害株周辺の土を掘って幼虫を捕殺する。 2. 作付け前に圃場内の除草を行う。	植 付 時	1B	ネキリエースK
5 コガネムシ類 (幼虫)	1. 有機物はできる限り完熟したものを使用し、未熟な有機物は使用しない。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ラグビーMC粒剤はネグサレセンチュウにも登録がある。	植 付 前	1B 1B	ラグビーMC粒剤 ダイアジノンSLゾル
		生 育 期	1A	オンコル粒剤5
6 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期 から 8 月 下 旬	1B 3A 3A 5 22A 22B 28 30 UN 3A・1B	エルサン粉剤2 アデイオン乳剤 トレボン乳剤 ディエースC トルネードエースDF アクセルフロアブル プレバソソフロアブル5 グレーシア乳剤 プレオフロアブル (混)ハクサップ水和剤
7 スズメガ類	幼虫を見つければ次第、捕殺する。	生 育 期	3A UN	アデイオン乳剤 プレオフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

さといも

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
8 アブラムシ類	1. 圃場周辺の雑草の除去を行なう。 2. シルバーポリマルチを使用する。	植 付 前	4A	ア ク タ ラ 粒 剤 5
		植 付 時	1A 4A	オ ン コ ル 粒 剤 5 ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
		発 生 初 期	1B 4A	エ ル サ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー 顆 粒 水 和 剤
9 ハダニ類	1. サトイモ出芽時までに畦畔防除を行う。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. コテツフロアブル、ピラニカEWはカンザワハダニに登録がある。	発 生 初 期	6 13 20D 21A 21A	コ ロ マ イ ト 乳 剤 コ テ ツ フ ロ ア ブ ル マ イ ト コ ー ネ フ ロ ア ブ ル サ ン マ イ ト フ ロ ア ブ ル ピ ラ ニ カ E W
10 ネグサレセンチュウ	1. 連作を回避する。 2. 水田への転換可能なところでは、1～2年間水田化する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤は乾腐病にも登録がある。	土 壌 消 毒	8B 8B 8B 8F 8F	ク ロ ー ル ピ ク リ ン ド ロ ク ロ ー ル ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤 ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		植 付 前	1B	ネ マ ト リ ン エ ース 粒 剤
		植 付 前 (種いも消毒)	14	パ ダ ン S G 水 溶 剤

(36) やまのいも

※塊茎を食用に利用する場合であって、むかごを食用に利用する場合は該当しない

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 根腐病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 種いもは無病圃場のものを用いる。 2. 連作を避ける。 3. 収穫終了後は被害植物を除去し、処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- -	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		植 付 前 (種いも消毒)	M3・1	(混)ベンレートT水和剤20
2 褐色腐敗病 <i>Fusarium oxysporum</i> <i>F. solani</i> f. sp. <i>pisi</i> <i>F. solani</i> f. sp. <i>radicicola</i>	1. 連作を避け、イネ科、ウリ科作物との輪作を行う。 2. 健全な種いもを使用する。 3. 遅植えする。 4. 多肥栽培、特に窒素過多を避ける。 5. 収穫終了後は被害植物を除去し、処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- -	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		植 付 前 (種いも消毒)	M3・1	(混)ベンレートT水和剤20
		植 付 前	29	フ ロ ン サ イ ド S C
3 炭疽病 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	1. 被害茎葉を処分する。 2. 支柱は消毒して使用する。 3. 密植、多肥による過繁茂を避ける。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ダコニール1000はつる枯病にも登録がある。	発 病 初 期	1 M1 M3 M5 M7 1・M3 M1・M5	ト ッ プ ジ ン M 水 和 剤 Z ボ ル ド ー ジ マ ン ダ イ セ ン 水 和 剤 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0 ベ ル ク ー ト フ ロ ア ブ ル (混)ラビライト水和剤 (混)シトラノフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

やまのいも

防除法 病虫害名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
4 葉渋病 <i>Cylindrosporium dioscoreae</i>	1.被害茎葉を処分する。 2.支柱は消毒して使用する。 3.多発圃場では連作を避ける。 4.窒素質肥料の過用を避け、カリ肥料を十分施す。 〈薬剤使用の特記事項〉 1.ダコニール1000はつる枯病にも登録がある。	発 病 初 期	1 11 29 M1 M1 M3 M5 M7 M7 1・M3 M1・M5	ト ッ プ ジ ン M 水 和 剤 ス ト ロ ビ ー フ ロ ア ブ ル フ ロ ン サ イ ド 水 和 剤 Z ボ ル ド ー キ ノ ン ド ー 水 和 剤 4 0 ジ マ ン ダ イ セ ン 水 和 剤 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0 ベ ル ク ー ト 水 和 剤 ベ ル ク ー ト フ ロ ア ブ ル (混) ラ ビ ラ イ ト 水 和 剤 (混) シ ト ラ ー ノ フ ロ ア ブ ル
5 青かび病 <i>Penicillium sclerotigenum</i> <i>Penicillium</i> sp.		植 付 前 (種 い も 消 毒)	M1 M7	I C ボ ル ド ー 6 6 D ベ ル ク ー ト フ ロ ア ブ ル
6 アブラムシ類	1.圃場周辺雑草の防除を行う。 2.シルバーポリマルチをする。	植 付 時	4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
		萌 芽 期	4A	ア ク タ ラ 粒 剤 5
		発 生 初 期	3A 3A 3A 4A 4A 4C 9B	ア デ ィ オ ン 乳 剤 マ ブ リ ッ ク 水 和 剤 2 0 ト レ ボ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー 顆 粒 水 和 剤 モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ト ラ ン ス フ ォ ー ム フ ロ ア ブ ル コ ル ト 顆 粒 水 和 剤
7 ハダニ類	1.圃場周辺雑草の防除を行う。 2.収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	6 20D	コ ロ マ イ ト 乳 剤 マ イ ト コ ー ネ フ ロ ア ブ ル
8 シロイチモジヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	若 齢 幼 虫 期	3A	ト レ ボ ン 粉 剤 D L
9 コガネムシ類 (幼虫)	1.有機物はできる限り完熟したものを使用し、未熟な有機物は使用しない。	植 付 前	1B	ダ イ ア ジ ノ ン S L ズ ル
		植 付 時	4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
10 ケラ	1.土壌の乾燥を図り、未熟堆肥の施用を避ける。			
11 ヤマノイモコガ	1.密植、多肥による過繁茂を避ける。	発 生 初 期	1B 3A 3A 3A	オ ル ト ラ ン 水 和 剤 ア デ ィ オ ン 乳 剤 マ ブ リ ッ ク 水 和 剤 2 0 ト レ ボ ン 乳 剤
12 ナガイモコガ	1.密植、多肥による過繁茂を避ける。	発 生 初 期	15	ア タ プ ロ ン 乳 剤
13 ハスモンヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期	3A 3A 11A 28	マ ブ リ ッ ク 水 和 剤 2 0 ト レ ボ ン 乳 剤 ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤 プ レ バ ソ ン フ ロ ア ブ ル 5
14 ネコブセンチュウ	1.種いもに寄生していることが多いので、無被害いもを用いる。	植 付 前	1A 1B	バ イ デ ー ト L 粒 剤 ネ マ ト リ ン エ ー ス 粒 剤